

第17回 九州産業大学建築設計競技 高校生作品募集

5. 審査

- ① 審査委員
九州産業大学工学部建築学科全教員 審査委員長 額原 澄子 講師
- ② 入賞発表
2009年10月9日(金)
審査結果については、応募者に直接通知します。また、本学学園祭期間中の2009年11月1日(日)～11月3日(火)に、入賞作品を展示いたします。
- ③ 授賞式
2009年11月1日(日)本学において行います。授賞式に出席する一等、二等、三等までの入賞者、および一等、二等入賞者の指導教諭の交通費(本学の規定に準ず)は、本学で負担いたします。当日、審査委員長による講評を行います。

6. 入賞賞品および入試出願

- ① 入賞賞品
下記の入賞者に賞状および賞品を贈呈し、あわせて副賞を入賞者が在籍する高等学校に寄贈いたします。なお、賞品および副賞は、図書カードまたは文具券とします。また、応募者全員に参加賞を贈ります。

一等	1点 (賞品 12万円 副賞 3万円)
二等	2点 (賞品 6万円 副賞 3万円)
三等	3点 (賞品 4万円 副賞 3万円)
佳作	約12点 (賞品 2万円)

- ② 入試出願
佳作を含めた入賞者は、出願の条件を満たしている場合、本学工学部建築学科への公募制推薦入試(特別)に出願することができます。(本学学生募集要項を参照のこと)
また、三等以内の入賞者で本学入学試験に合格された方は、九州産業大学フレッシュマン・スカラシップ特別枠の対象となります。(4年間の授業料全額免除、詳細は本学2010年度入学案内参照のこと)

7. 図面の返却

応募作品は入賞作品を除き、発表後3ヶ月以内に提出図面のみ高等学校宛に一括して返却いたします。一括返却までの間の返却要請には応じられませんので、文化祭などで提出図面が必要になると予想される場合は、あらかじめカラーコピーをとっておいてください。

入賞作品の公開(掲示・出版)については、本学の判断で行うことができることといたします。

・ テーマ ・

変わるnLDK ~既存団地の住戸改修計画~



この建築設計競技は、高等学校で建築を学ぶ生徒諸君が、日常の勉学の中で建築設計について重ねた研鑽努力の成果を発表する場の提供を目的として開催するものです。

第17回九州産業大学建築設計競技応募要項

1. 課題 「変わるnLDK ～既存団地の住戸改修計画～」

日本の高度成長期に大量に供給された団地。その間取りの基本となったのがnLDKでした。nLDKとは、リビング(L)、ダイニング(D)、キッチン(K)に加えて、いくつかの個室(n)があるかを示すもので、nLDK型の間取りは食寝分離や公私分離ができ、衛生的かつプライバシーのある生活を実現できるという利点がありました。しかし、nLDK型の間取りは、壁が多く、部屋の使い方が固定的になりがちであるという欠点がありました。また、現代においては、夫婦に子供2人という核家族の構成さえもはや標準的とは考えられなくなりつつあります。

築後40年から50年が経過した団地は今、老朽化とともにライフスタイルの変化を理由に、次々に建替えられています。けれども、nLDK型の住戸を持つ団地に、本当に未来はないのでしょうか？

最近、リノベーション、コンバージョンとよばれる、古い建物の改修に注目が集まっています。団地に関しても、住戸面積が小さいものは2戸をつなげて1戸としたり、階段しかなかったものにはエレベーターを設置したりといった改修が実際に行われています。このような改修を通して、いままでのnLDK型の間取りではできなかったような新たな暮らし方や空間ができるのではないのでしょうか。

そこで、本設計競技では、以下の「設計条件」に示すごく一般的な3LDKの住戸の改修計画を提案して下さい。対象とする住戸は1戸から2戸とします。1戸の場合、それぞれの室を構成していた壁を取払い、限られた空間の中でよりフレキシブルな空間の利用法を提案することが考えられるでしょう。2戸を使った場合、機能面では、住居のほか、店舗や事務所を併設するといったことが提案できるでしょうし、また、空間的には、左右の住戸を繋げた場合はバリアフリーの広い空間ができ、上下の住戸を繋げた場合、吹抜けなどを介したダイナミックな空間をつくることのできるでしょう。さらに、2戸といっても、上下左右だけでなく、離れた2戸を使う提案もあり得ます。この場合、世代ごとに住み分けをしたり、あるいは、住居と仕事場を分けつつ職住近接をはかるといった提案も考えられるでしょう。

どんな提案をするにせよ、重要なのは、既存の3LDKを内包していた住戸のフレームを使って、どんな生活ができるのか、どんな空間ができるのか、想像力をふくらませることです。自由で夢があり、かつ空間的に面白く、リアルな提案を期待しています。

2. 設計条件

- ・図に示す集合住宅(鉄骨鉄筋コンクリート造 10階建 総戸数100戸)の中の1戸または2戸を使った改修計画を提案します。
- ・利用者(家族、あるいはオフィス等で働く人)の構成は任意としますが、提案は必ずそこに住人がいるものとして下さい。
- ・水回りについては、移動することも可能ですが、なるべく同位置にすることが望ましいと考えます。
- ・構造体については、集合住宅全体で適切な補強がなされているものと仮定し、本設計競技の提案では、柱(850mm角)とそれを繋ぐ大梁を主要構造体として、隣戸との界壁および住戸の内壁は自由に撤去・増設することができるものとします。また、提案住戸内で床の撤去・増設もできるものとします。
- ・アプローチは基本的に共用廊下側からとしますが、地上階などに計画した場合、必要であれば前面道路側のアプローチを加えてもかまいません。その場合、アプローチ、庭など外構の計画を示して下さい。
- ・最上階および東西端の住戸を使う場合は、トップライトや窓をつけてもかまいません。

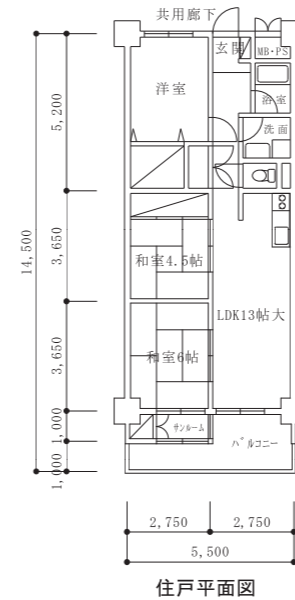
3. 提出図面

① 要求図面

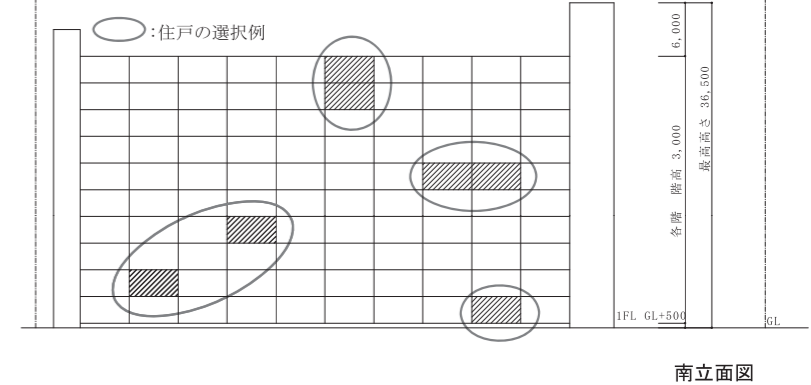
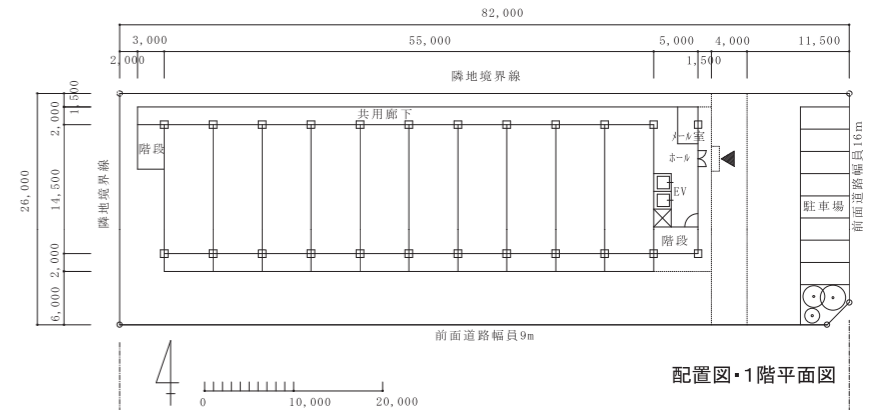
- ・作品タイトル
- ・設計主旨
改修のストーリーの概略、改修のコンセプト、利用者構成(住人やオフィスの人員構成など)等をわかりやすく示して下さい。
- ・図面等
平面図、断面図、計画住戸がマンションのどこにあるかを示す立面図または断面図(以上必須)。その他、配置図、立面図、主要な室の内部仕上げが分かる展開図、透視図、模型写真等を適宜入れてください。

② 用紙・仕上げ方法

- ・要求図書をB2判(515mm×728mm)の用紙1枚に表現のこ。紙質は問いません。
- ・仕上げ方法は自由。図面などのレイアウトは、設計内容がよく伝わるように工夫してください。
- ・図面はパネル化せず、ボードなどに挟むか筒に入れて提出してください。提出は原図に限ります。



敷地・周辺状況
当該建物(築約20年)が建つのは、ある地方都市の中心市街地から車で約20分ほどのベッドタウンである。駅からは徒歩でおよそ10分。周辺には住居と商業施設が程よく分布している。
規模・形状、道路との関係、方位等は配置図に示す通りである。



4. 応募

① 応募資格

高等学校の建築科、デザイン科、インテリア科、工芸科あるいはこれに準ずる学科の在籍者。なお、応募作品は個人の制作としますので、共同制作は認めません。応募は1人1点とします。

② 質疑応答

応募要項にないものは応募者の判断による設定とし、質疑応答は行いません。

③ 提出期限

2009年9月11日(金)
提出はすべて郵送とし、同日消印まで有効としますが、規定の期限を厳守してください。

④ 提出先

〒813-8503 福岡市東区松香台2丁目3番1号
九州産業大学建築設計競技委員会 TEL092-673-5770

⑤ 提出方法

提出図面に所定の応募用紙(コピー可)を添付して提出してください。提出図面には提出者の所属高等学校名、氏名などは一切記入してはいけません。